

投資事業評価調書(新規)

課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 足立真清 (丸岡 剛)	内線	4 4 7 4 (4 4 8 0)
事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	約15億円 (うち用地補償 費12億円)
		都市計画道路 加古川別府港線 <small>(なかつ)</small> (県道加古川小野線)	加古川市加古川町 <small>かわら</small> 河原～中津		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
加古川市加古川町河原～加古川町中津				H 1 6 年度	H 2 2 年度
事業目的			事業内容		
<p>渋滞交差点の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫県渋滞交差点解消プログラムに位置づけられている河原交差点の容量拡大により、慢性的な渋滞解消を図る。 <p>緊急輸送路の早期整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差事業と連携し、JR加古川駅及び中心市街地と市の広域防災拠点である日岡山公園へのアクセス機能の向上を図る。 中環状道路である中津水足線と連携し、市街地における幹線道路ネットワークを形成する。 <p>歩行者等の安全性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩道の整備により、現県道における歩行者等の安全性の向上を図る。 			<p>道路改築 L = 5 1 3 m</p> <ul style="list-style-type: none"> 現道の拡幅(西側拡幅) 右折レーンの確保 自転車歩行者道の整備 <p>現況：2車線 + (2.0、1.5m) 歩道 W=6.5(12.5)</p> <p>計画：2車線+4.5m両側歩道 W=6.5(20.0)</p> <p>交通量(台/日)</p> <p>現況：9,540 (H11センサス) 計画：12,300 (H22予測)</p> <p>混雑度：1.1 (H11センサス) 歩行者：391人/日 (H11センサス) 自転車：1,964人/日 (H11センサス)</p>		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 現道は通学路であるが、歩道が狭く人身事故が多発するなど非常に危険であるため、歩道を拡幅整備し、安全性の向上を図る必要がある。 (平成14年人身事故率1,340人/億台・キロ 250人/億台・km) 緊急輸送道路ネットワーク計画に緊急輸送道路として位置づけられており、市の広域防災拠点である日岡山公園へのアクセス道路としても早期に整備する必要がある。 			
地域の活性化		<ul style="list-style-type: none"> J R 加古川駅周辺地区へのアクセス機能を強化することにより、地域の活性化を図る。 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> 歩道をセミフラット化することにより、歩道のバリアフリー化を行う。 兵庫県渋滞交差点解消プログラムに位置づけられている河原交差点の渋滞解消を図る。 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> 加古川市が街路整備プログラムの改訂にあたって実施した、市民アンケート調査の結果、加古川ランプ付近の整備を求める意見が多い。 			
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 2 . 4 今回整備予定区間とあわせ、現在事業中の河原工区についても今年度に完成予定であり、連続立体交差事業及び中環状道路である中津水足線と合わせて加古川市の骨格となる幹線道路の整備が促進し、駅周辺地区へのアクセス機能の強化が図れる。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 周辺は、密集した市街地であり、高木植樹や、歩道部はインターロッキング舗装、車道部は排水性舗装を実施することにより沿道環境の保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 河原交差点では、当路線から国道2号バイパスへ右折する大型車が多く、通勤時間帯においては、渋滞長が350mにも及んでいる。また、人身事故も多数発生しており非常に危険であることから、早急に整備する必要がある。 (平成14年における事業予定区間の人身事故件数：21件) 国道2号バイパスリニューアル事業に引き続き当工区を整備することにより、河原交差点の渋滞を早期に解消する必要がある。 幹線道路ネットワークの効果を早期に発揮するため、中環状道路を形成する中津水足線と一体的に整備するため、早期の着手が必要である。 			

